

船舶事故調査報告書

令和8年4月22日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	令和6年10月13日 10時20分頃
発生場所	千葉県富津市萩生漁港北西方沖 萩生港第1防波堤灯台から真方位303° 1.7海里付近 (概位 北緯35° 12.9′ 東経139° 47.8′)
事故の概要	遊漁船第十五えさ政丸は、南南西進中、また、プレジャーボートあきら丸は、船首を北東方に向けて漂流中、両船が衝突した。
事故調査の経過	令和6年10月23日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 遊漁船 第十五えさ政丸、12トン 235-25535 東京、有限会社えさ政釣船店（A社） B プレジャーボート あきら丸、2.6トン 232-47478 千葉、個人所有
乗組員等に関する情報	船長A、一級小型・特定 船長B、一級小型
負傷者	A なし B 軽傷 2人（船長B、同乗者）
損傷	A 左舷船首部外板に擦過傷 B 操舵室前面窓ガラス等に破損、両舷ハンドレールに曲損等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 4、視界 良好 海象：波高 約0.5～1.0m、潮汐 上げ潮の中央期
事故の経過	A船は、船長Aが1人で乗り組み、釣り客20人を乗せ、神奈川県横須賀市観音埼東方沖の釣り場で遊漁を行った後、その南方の釣り場に向かうため移動を開始した。 船長Aは、操舵室左舷側の操縦席に座って手動操舵で操船に当たり、また、釣り客20人は、A船の両舷に設けられた釣り座に座って、A船は、約15ノットの対地速力で南南西進していた。 船長Aは、A船の右舷前方に複数の小型船舶を認め、その場所がA船の向かっている釣り場付近であったので、それらの動向に意識を向けたまま正船首方の見張りを行わずにいたところ、突然衝撃を受けた。 船長Aは、周囲を確認したところ、A船の左舷船首部とB船の船首部とが衝突していたことに気付いた。 船長Aは、釣り客の負傷の有無及びA船の損傷状況を確認し、本事故の発生を118番通報するとともに、A社に本事故の発生を報告した。その後、自力で東京都大田区所在の係留場所に戻った。

	<p>B船は、船長Bが1人で乗り組み、家族1人を同乗させ、萩生漁港北西方の釣り場に到着した後、船首を北東方に向けた状態でスパンカーを展開して主機操縦レバーを中立とし、漂泊して釣りを開始した。</p> <p>船長Bは右舷船尾部で、同乗者は左舷船尾部で、それぞれ釣りに意識を集中していた。船長Bは、船首方100m付近から接近してくるA船を認め、振り向いて同乗者を見た後、船首方に向き直した際、B船の至近にA船を認めたが、どうすることもできず、B船とA船とが衝突するのを見た。</p> <p>船長Bは、同乗者の負傷の有無及びB船の損傷状況を確認し、本事故の発生を118番通報し、続いてB船の係留場所である富津市所在のマリーナへ連絡した後、自力で同マリーナに戻った。</p> <p>船長B及び同乗者は、衝突の際の衝撃によって、腰部等に打撲等を負った。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図 参照)</p>
<p>分析</p>	<p>(1) A船について</p> <p>A船は、南南西進中、船長Aが、これから釣りを行おうとしていた場所(現場)付近に他船を複数認めたことから、それらの動向が気になり、操船に意識を集中できなくなっていたものと考えられる。</p> <p>これにより、船長Aは、正船首方の見張りがおろそかになり、A船はB船と衝突したものと考えられる。</p> <p>(2) B船について</p> <p>B船は、船首を北東方に向けて漂泊中、船長Bが、釣りに意識を集中していたことから、周囲の通航船舶に意識が向いていなかったものと考えられる。</p> <p>これにより、船長Bは、周囲の見張りがおろそかになり、B船はA船と衝突したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、A船が南南西進中、B船が船首を北東方に向けて漂泊中、船長Aが、A船の右舷前方に認めた複数の小型船舶の動向に意識を向けたまま船首方の見張りを行っていなかったため、漂泊中のB船に気付かず、また、船長Bが、釣りに意識を集中して周囲の見張りを行っていなかったため、船首方から接近するA船に気付くのが遅れ、両船が衝突したものと考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船長は、航行中、特定の方向のみに注意を向けることなく、常時、周囲の見張りを適切に行うこと。 ・船長は、漂泊中、作業等に意識を向け過ぎず、自船に接近する他船を把握できるよう、常時、周囲の見張りを適切に行うこと。

付図1 事故発生経過概略図

